

## 会派研修会実施報告書

会派研修の結果について、下記のとおり報告します。

令和6年4月12日

光市議会議長 木村信秀様

光市議会会派 「かいこう」

代表者 森戸 芳史


議員名 小林 隆司

議員名 早稲田真弓

### 記

- 1 研修日時 令和6年3月26日(火) 13:00～15:00
- 2 研修場所 武田薬品工業(株)厚生会館 1F研修室
- 3 研修内容 医薬品等の供給不安対策
- 4 研修結果 別紙のとおり

## 研修結果

日時	令和6年3月26日(火) 13:00~15:00	
場所	武田薬品工業(株)厚生会館 1F研修室	
講師	UAゼンセン製造産業部門常任執行委員 永井 崇大 氏	
テーマ	医薬品等の供給不安対策	

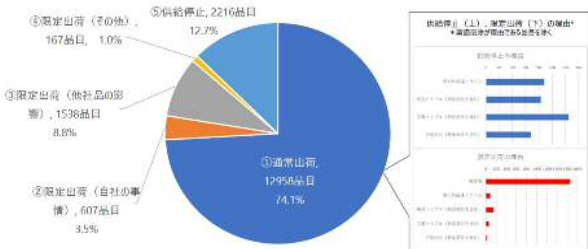
### 【研修の背景および目的】

ここ数年、せき止めや痰を切る薬、抗菌剤など、身近な薬の不足が続いています。製薬団体が実施した調査によると、令和5年9月時点で薬全体の約2割が出荷停止や限定出荷の状態にあり、その7割が安さを売りにしているジェネリック医薬品（後発医薬品）が占めています。また、インフルエンザや新型コロナウイルスの流行も相まって状況は悪化しています。こうした状況をふまえ、国内における医薬品等の供給状況を確認し、今後の対応策を検討することを目的として研修会を開催しました。

### 【医薬品の供給状況】

#### 医薬品の供給不安は未だ収束していない

令和5年12月の調査においても「**限定出荷・供給停止**」の品目が合計で**25.9%**（4528/17486品目）であり、実に全医薬品の1/4以上の品目で通常出荷ができておらず手に入りづらい状況が継続している。  
\* 通常出荷：全ての薬品に対応できている。又は十分な在庫が確保されている状況。



供給停止(上)、限定出荷(下)の理由\*

- 供給停止(上): 供給停止の理由
- 供給停止(下): 供給停止の理由

①通常出荷 (12998品目) 74.1%

②限定出荷 (自社の事情) (607品目) 3.5%

③限定出荷 (他社品の影響) (1538品目) 8.8%

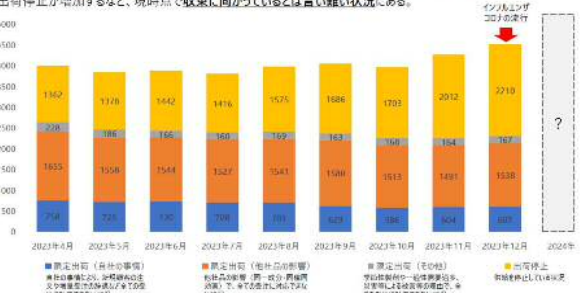
④供給停止 (2216品目) 12.7%

⑤限定出荷 (その他) (167品目) 1.0%

①令和5年厚生労働省医薬品等供給不安調査結果(医薬品供給不安調査) (令和5年12月) (2024年12月) 医薬品供給不安調査結果(医薬品供給不安調査) (令和5年12月) (2024年12月)

#### 医薬品の限定出荷品目数の推移

「医薬品供給状況にかかる調査」における限定出荷品目数の推移を捉えても、限定出荷の品目数は下げ止まり、かつ出荷停止が増加するなど、現時点で**収束に向かっているとは言えない状況**にある。



インフルエンザ  
コロナの流行

■ 限定出荷 (自社の事情)  
自社の事情による供給不安  
① 供給不安の発生  
② 供給不安の発生  
③ 供給不安の発生

■ 限定出荷 (他社品の影響)  
他社品の供給不安  
① 供給不安の発生  
② 供給不安の発生  
③ 供給不安の発生

■ 限定出荷 (その他)  
供給不安の発生  
① 供給不安の発生  
② 供給不安の発生  
③ 供給不安の発生

■ 出荷停止  
供給不安の発生  
① 供給不安の発生  
② 供給不安の発生  
③ 供給不安の発生

①令和5年厚生労働省医薬品等供給不安調査結果(医薬品供給不安調査) (令和5年12月) (2024年12月) 医薬品供給不安調査結果(医薬品供給不安調査) (令和5年12月) (2024年12月)

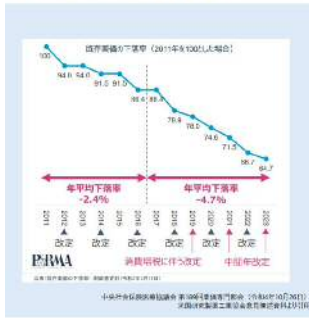
#### 厚生労働省が実施した「医薬品供給状況にかかる調査結果」

- 令和5年12月時点で「限定出荷・供給停止」の品目が合計で**25.9%**（4528/17486品目）であり、実に全医薬品の1/4以上の品目で通常出荷ができていない。
- 限定出荷品目数の推移は、限定出荷の品目数は下げ止まり、かつ出荷停止が増加している。

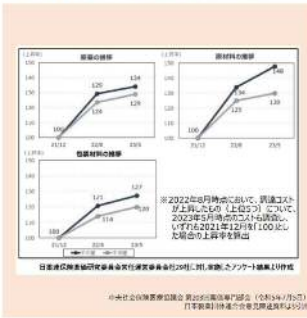
## 【医薬品や医療機器産業が現在直面している構造的な課題】

### 度重なる薬価改定・物価高騰による影響

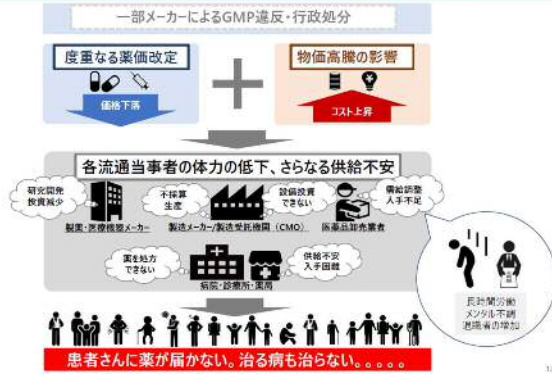
#### ■中間年改定により薬価下落が加速



#### ■物価高騰によるコスト増は昨年より悪化



### 医薬品や医療機器産業が現在直面している構造的な課題



・ 度重なる薬価改定や物価高騰の影響により、企業のコストが増加している。

・ 企業のコストが増加したことで、研究開発費の削減や設備投資の先送り、さらに一部の品目で不採算生産が行われている。

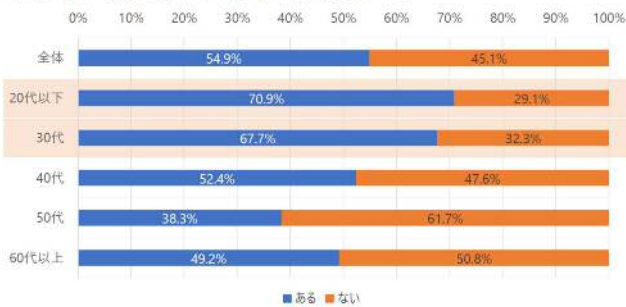
・ 政府より増産要請された鎮咳薬・去痰薬の一部（例：メジコン錠 15 mg、5.7 円／錠）の薬価がフリスク 1 個の価格と同等である。

## 【終わりの見えない供給不安の中、生産・流通・調剤等のサプライチェーンの状況】

### 医薬品卸の退職（転職）実態にかかる緊急調査

4. あなたの自身、この1年間で退職（転職）を考えたことはありますか？（年齢別結果）

「退職を考えたことがある」と回答した割合は、全年齢で54.9%であった。特に若手層でその傾向が顕著であり、20代以下・30代では約7割に上った。



### 医薬品卸の退職（転職）実態にかかる緊急調査

6. 上の5. の質問で選択した理由について、コメントがあれば記載してください。（若手のコメントを抜粋）

20代男性営業職	後発品の品切れが多すぎる状態が、もう3年以上続いているにも関わらず、一向に改善が見られず仕事に対するモチベーションが保てなくなっている
20代女性営業職	出荷調整による徹夜な在庫管理毎日の調整、メーカーさんの代わりにひたひたに頼られることも多々あります。本来の営業の仕事ができていなく、精神的な疲労や努力と給料があてにならないと感じています
20代女性営業職	同世代と比べて給料待遇や職場・業務の変化もなくこのままの業界に居ても将来性がない仕事だと感じ、10年後、20年後のキャリアアップやスキルアップした自分の姿が想像できないと思ったから。

・ ジェネリック医薬品が不足する中、医薬品の流通を担う卸売業者にカスタマーハラスメントとも言える問い合わせが相次いでいる。

・ UA ゼンセンが実施した医薬品卸の退職（転職）実態にかかる緊急調査によると、「退職を考えたことがある」と回答した割合は、全年齢で 54.9% であった。特に、若手層でその傾向が顕著であり、20 代以下・30 代では約 7 割に上った。

